

## 造影 MRI 検査を受けられる方へ

本日の検査で造影剤カドジアミド水和物注（オムニスキャン）、ガドテリドール（プロハンス）を使用します。その検査薬は尿と一緒に体外に出て行きます。検査終了後、1時間から数時間後、

- ① 1%以内の頻度で蕁麻疹、発疹、掻痒感、顔面紅潮、動悸、頭痛、めまい、嘔吐、気分不良、発熱等の症状が現れることがあります。
- ② 0.1%未満の頻度で、急激な血圧低下によるショック、咽頭喉頭浮腫による呼吸困難が現れることがあります。

気管支喘息、てんかんの方、重篤な腎障害、肝障害のある方は造影剤の使用は原則禁忌となっていますので、必ず申し出てください。

造影剤によるショック等の重篤な副作用はそれを確実に予知できる方法はないと言われており、副作用テストに使う少量でもショックや呼吸困難を起こすことがあるため、テストの有用性を疑問視する意見が多く、当院では行っておりません。対応策として、点滴による静脈血管の確保を行い、検査室内で直前に0.5cc以下の造影剤を注入し副作用のないことを確認します。万一の副作用に対しては治療できる体制の下に造影剤を使用します。

- 1) ショック等に対し血圧昇圧剤、ステロイドホルモン等の薬剤の準備
- 2) 呼吸困難、呼吸停止に対し気道確保、呼吸管理する器具等の救急処置の確認

以上、造影剤の副作用、発現率について、了承の上、ご承諾ください。

平成 年 月 日

明神館脳神経外科

説明医

---

今回私が造影 MRI 検査を受けるにあたり、造影剤の副作用、発現率について説明を受け、納得しましたので、造影 MRI 検査実施について、承諾いたします。

平成 年 月 日

患者氏名